

2016年1月5日 全5頁

【統計情報】景気が見えるグラフ3 2 (2016年1月号)

データバンク課

[要約]

■ I. 国内景気

GDP統計／実質成長率……………2次速報で前期比プラスに上方修正
 鉱工業生産指数……………前月比1.0%減で3カ月ぶりの低下
 日銀短観／業況判断DI……………実績は、大企業1%⁺引ト低下、中小は横ばい
 景気動向指数CI……………10月は両指数上昇
 機械受注統計……………受注額は2カ月連続で増加
 消費総合指数……………10月は低下
 貿易統計……………11月、赤字額はほぼゼロに
 輸出数量指数……………総合、対アジアが上昇
 新設住宅着工……………前年比1.7%増
 首都圏マンション販売……………移動平均で前年比9.7%減
 消費者物価・企業物価指数……………コアコアCPIは前年比0.9%上昇
 マネーストック……………マネーストック伸び率、3カ月連続低下
 完全失業率……………3.3%に上昇
 有効求人倍率……………1.25倍に上昇し高い水準
 企業倒産件数……………11月単月では前年比で増加
 日銀短観／雇用人員判断DI……………大企業の不足感はほぼリ・マンション前の水準に

■ II. マーケット

| | |
|---------|-------------|
| 為替レート | 実効為替レート |
| 日米株価指数 | 中国・ブラジル株価指数 |
| 日米欧政策金利 | 日米独国債流通利回り |
| 新興国政策金利 | 商品指標（原油・金） |

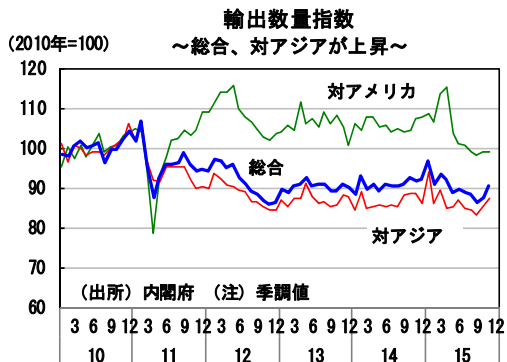
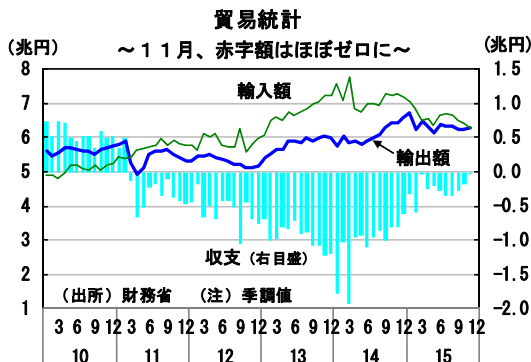
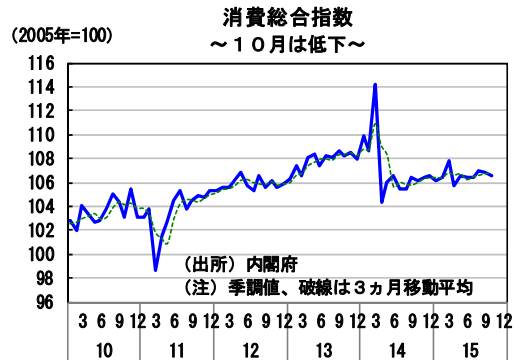
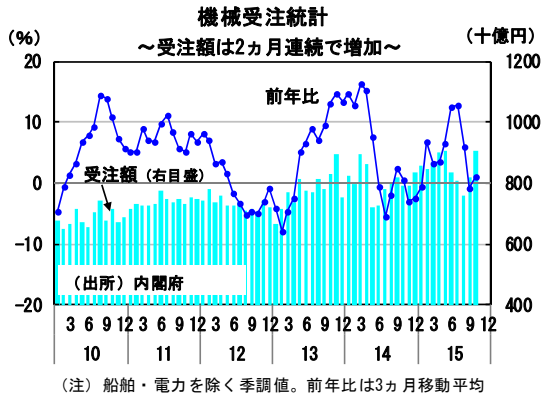
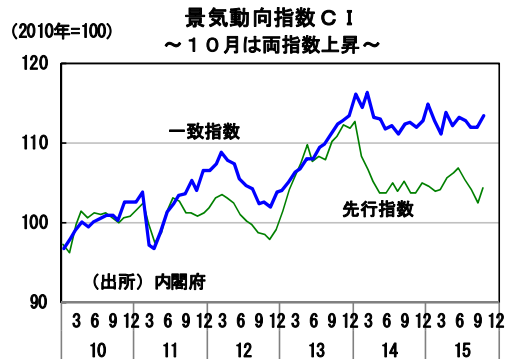
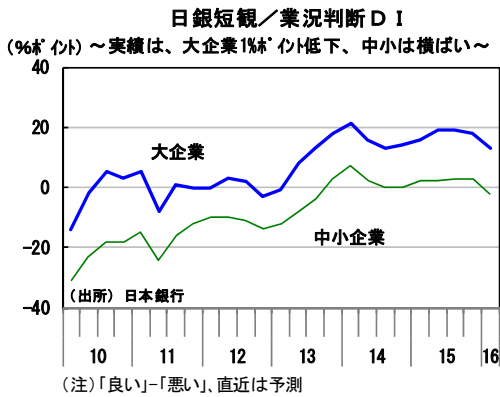
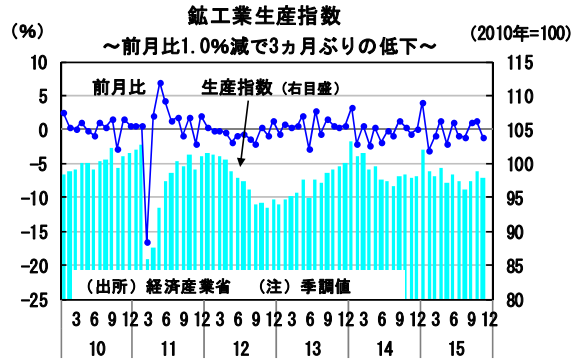
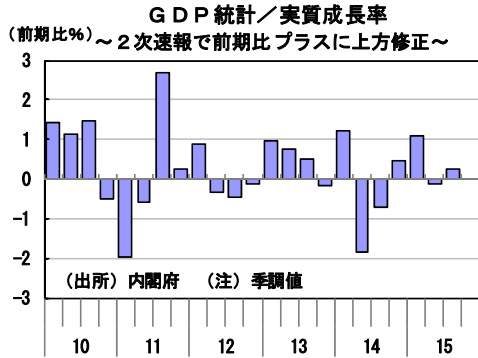
■ III. 海外経済

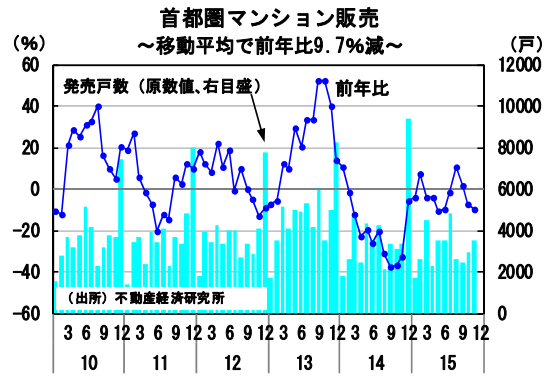
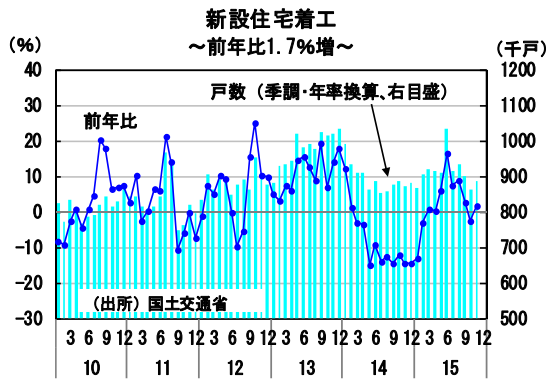
米国GDP／実質成長率……………3Q確定値は+2.0%に下方修正
 米国雇用統計……………11月の雇用者数は21.1万人増
 米國小売売上高……………11月の全体は、前月比+0.2%
 米国PCEデフレーター……………11月のコアデフレーターは+1.3%
 中国GDP／実質成長率……………3Q、伸び率+6.9%に減速
 中国鉱工業生産……………11月は+6.2%
 中国消費者物価指数……………11月の全体は+1.5%
 中国PMI景気指数……………12月は49.7、5カ月連続で50割れ

当資料は1月4日までの公表データで作成しています。

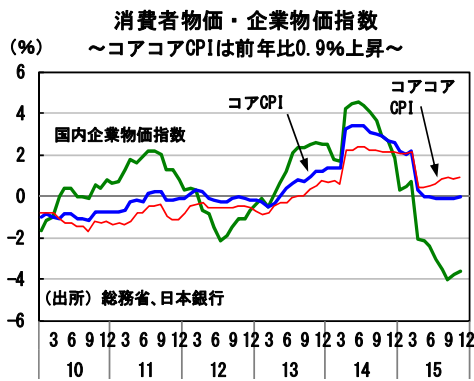
* 大和総研のウェブサイトでは、当レポートの関連データ集も公開しております。ご活用頂ければ幸いです。
<http://www.dir.co.jp/InfoManage/datarasc-s.html>

I. 国内景気

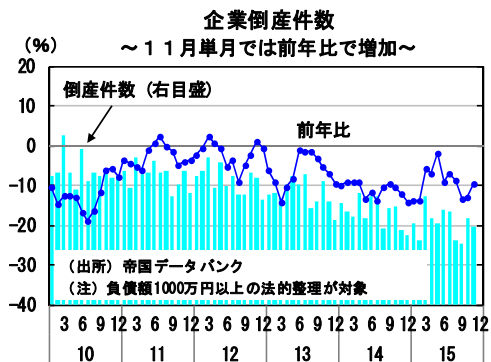
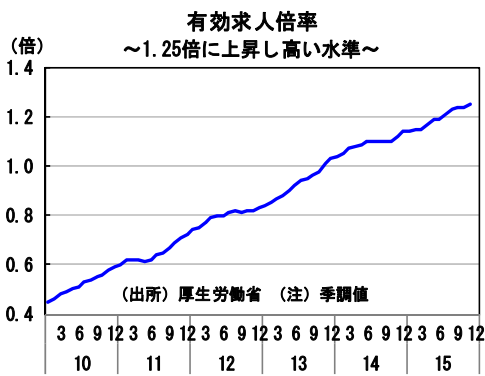
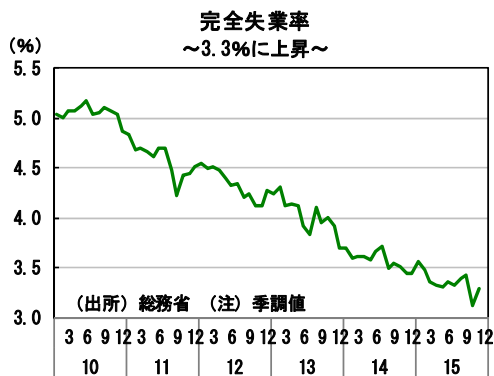
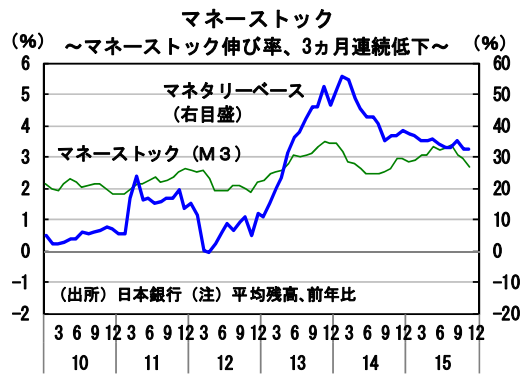




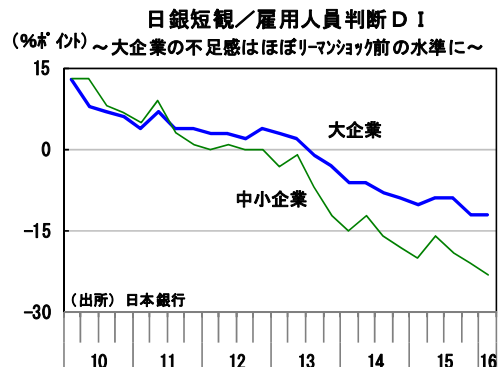
(注) 前年比は3ヵ月移動平均



(注) 前年比 CPI: 消費者物価指数。コアは生鮮食品除くベース
コアコアは食料(除く酒類)及びエネルギーを除くベース

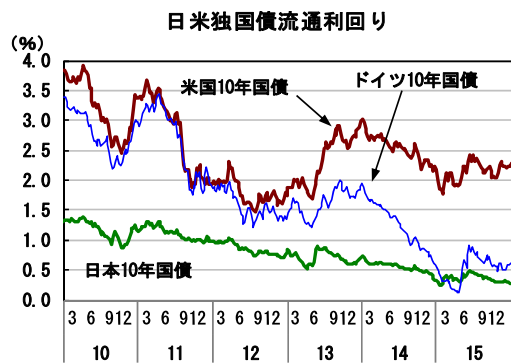
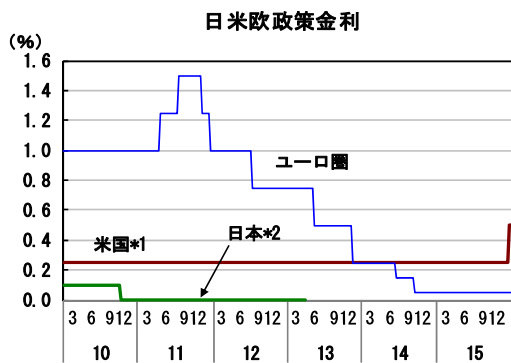
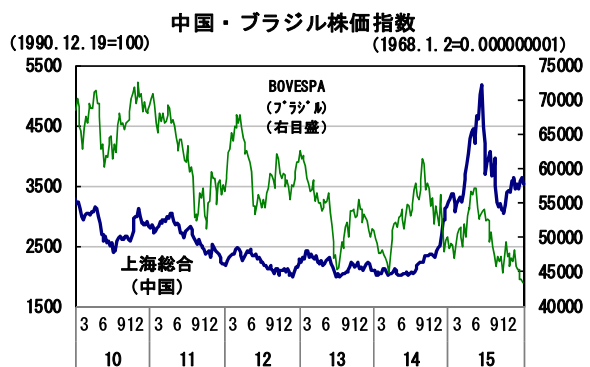
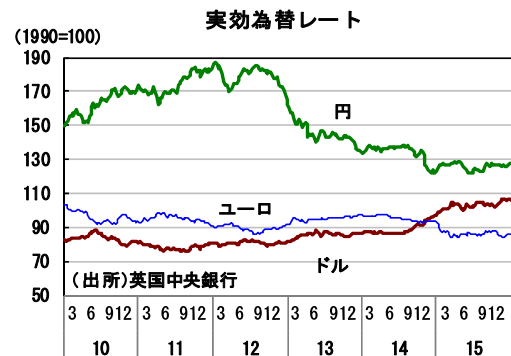
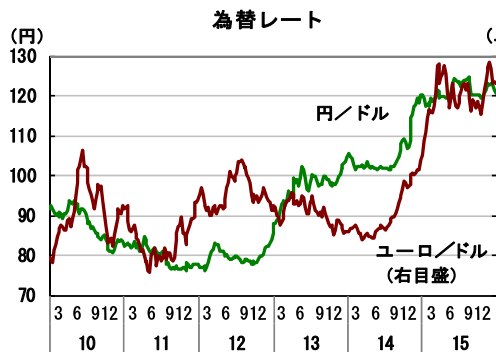


(注) 前年比は3ヵ月移動平均

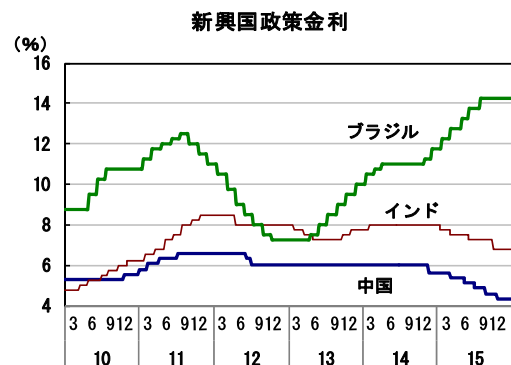


(注) 「過剰」「不足」、直近は予測

II. マーケット



*1) 米国 2008/12より0.00%~0.25%、2015/12より0.25%~0.50%
*2) 日本 金融市場調整の操作目標をマネタリーベースへ変更(2013/4)



(出所) 当頁、全グラフのデータは、各国証券取引所、各国中央銀行、日本経済新聞社等の公表データです。

Ⅲ. 海外経済

